

バレンタインティー

高崎花の苑では、年間事業目標を達成すべく、テーマごとの課題解決に向けて委員会を設置して取り組んでいます。具体的には、『ヒヤリハット(事故対策)委員会』『感染症対策委員会』『褥瘡委員会』『身体拘束禁止委員会』『サービス向上委員会』『広報委員会』の六部門です。

委員会には、日常的に発生する課題を持ち寄り、得られた解決策は現場の各ユニットにフィードバックする仕組みとなっています。

ここでは、各委員会の現状について報告してもらいました。紙面の都合上、今回は褥瘡、サービス向上、感染症対策の三委員会のみ掲載します。

●褥瘡委員会(メンバー五名)

○委員会の目的と現在の取り組み状況について

★褥瘡は高齢者に常に付きまとった疾患であり、重症化すると重大な結果を

苑内トピックス

もたらせます。そのため発症を未然に防ぎ、また早期発見に努め、適切な対応することを目標に活動しています。

★活動内容は、定期的に委員会を行い、各ユニット利用者様の褥瘡発生状況の報告、処置内容の確認、今後のケアについて話し合っています。

★また外部から講師を招き、苑内研修を行っています。

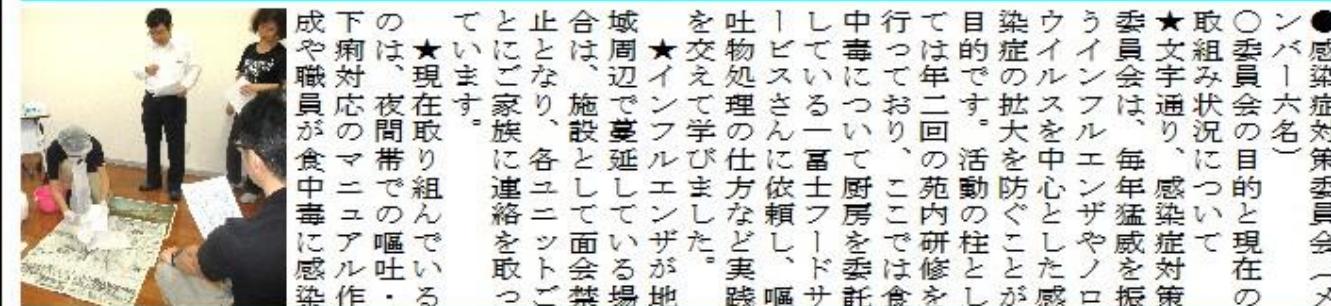
○今後に向けての展望などについて

★委員会所属メンバーが知識と技術を身に付け、自分たちで苑内研修を行えるようになる事。また利用者様に合ったケアが行なえるよう適切なベッドタイプを選択したり、試行錯誤していくなら良いと思います。

○委員会の目的と現在の取り組み状況
★本委員会は、平成二十八年九月に発足し、苑内では新しい委員会となります。主な目的としては苑内の風紀を正し、しっかりと利用者やご家族からクレームが発生した際には供できることを目指し、ご利用者やご家族からクレームが発生した際には委員会内で検討し、再発防止に努めていきます。

★現在取り組んでいる具体的な事としては、月一度、委員会メンバーで各ユニットを巡回し、ご利用者の生活の様子や環境面を観察。また職員の対応の仕方を客観的な目線で見ていき、意見や修正点をあげ、改善に努めています。その結果、各ユニットでは前向きな取り組みが見られ、この半年で大きく前進が図られました。

★今後、他施設の見学を予定しており、ご利用者支援の様子や取組について良いところを吸収し、施設で活かしていく方針を考えております。



す
りや
か

た時のマニュアル作成、汚染したリネン類の処理方法やトイレ使用後の手洗い合戦などについても、幅広く学んでいます。また、マニュアル作りについても、話題を交わしています。

【カルシウム】

カルシウムのお話。カルシウムは体に最も多く含まれるミネラルです。この約九九パーセントが骨や歯に存在しています。不足すると骨に蓄積されたカルシウムを放出してしまうため、結果的に骨量の減少へとつながります。

カルシウムと言えば乳製品ですが、小松菜やセロリ、大根の葉などの野菜、小魚にも豊富に含まれていますよ。

骨を強くするには適度な運動や日光に当たることも大切です。

編集後記

★慌ただしい時期に突入します。こんな時こそ！私らしく♪マイペースで行く予定です。(T)★久しぶりにサッカー観戦に行きモチベーション注入してきました。またの観戦を楽しみに日々励んで行きます。(S)★ミニバスの審判歴三年。シユーズを新調。子供たちとコートを走り、汗をかくのはこの上ない楽しみです。(S)★趣味の漫画のまとめ買いで財政がピンチです。新しい本棚が欲しいですがそれも適いません。ああ・。(K)★二月に入つてから目が痒くなりました。花粉症歴三十余年。本格的な花粉シーズン到来です。(M)★創刊号から振り返ると、少しずつ改良され写真で皆様の良い表情をお伝えできるようになつたのです。はと思います。(S)★三号館の船出と共に、小紙も三十号を迎えました。数字の三は縁起が良く、安定を意味するとか。更なる発展を期したい(N)

「バレンタインデー」

「バレンタインデー」

した。

利用者様の中には、甘いものやチョコレートが好きな方が多くいて、皆さんこそつて召し上がるおられました。中には自分で食べる事が困難な方も、この時は好物とあつてきれいに食べていただき大変うれしく思いました。

(E・Fユニット S)

「ひな祭りレク」

三月三日のお節句をお

祝いし、Dユニットでは桜餅づくりをご利用者と一緒に行ないました。桜餅と言えば、関西は道明寺粉を使用し、関東はもち米を使うのが定番のようですが、今回は白玉粉と小麦粉をブレンドしたものを使用しました。

特徴的なのは、桜餅の

上に桜の塩漬けをのせた

ことです。職員が知人かおやつを楽しんで頂きました。

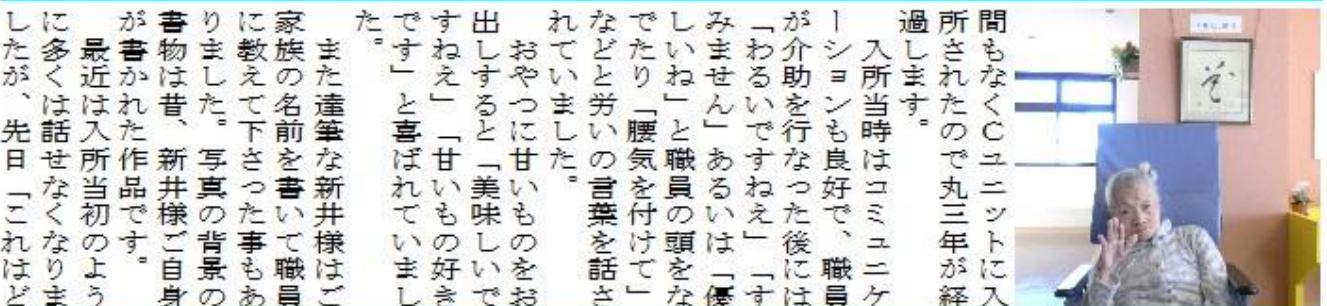
二月二十四日のバレンタインデーにE・Fユニットでイベントを行いました。バレンタインデーにチョコレートをプレゼントするのは、日本独自の習慣であり、欧米では花束やメッセージカードをプレゼントするようです。

それはそれとして、この日はご利用者ひとりおひとりの健康を念じながら、チョコレートケーキやアイスクリームなどを出し、職員からの心を込めたバレンタインデーのおもてなしとさせて頂きました。また飲み物はコーヒー、紅茶を提供し、普段とは変わったことを楽しんで頂きました。

A color photograph of three elderly women sitting around a table. The woman on the left is wearing a dark grey sweater. The woman in the center is wearing a striped shirt and a white face mask. The woman on the right is wearing a pink patterned top. They are all smiling and looking towards the camera.

「穏やかな日々」
(Dユニット K)

女性ご利用者の新井ヒサ様は、花の苑が開設後から分けさせていただいたもので、あんこの甘さを和らげて非常にシンプルな甘さに仕上りました。作業の工程で利用者様の積極的なお手伝いを頂きました、職員も非常に助かりました。皆さん、とても器用な手さばきで、職員は圧倒されるばかりでした。見る見る二十個ほどの桜餅が完成しました。お茶が入り、出来立ての桜餅がそれぞれに配られ、一齊に食べ始めると瞬静かになり、すぐにまたいつものおしゃべりで盛り上りました。皆さん「見た目もきれいにでき、味も美味しかったね」と感想を話されておられました。



A man is pouring oil from a bottle onto a red griddle. On the griddle, there are several small, round, golden-brown pieces of food, likely a type of pancake or crêpe. The background shows a kitchen counter with various items.

ツン、クルクル···。
「意外と難しいねえ」
「あ！うまい！」などと皆さま、笑顔でたこ焼き作りに奮闘されました。

そして、I様に順番が回ってきた時にハブニングが。I様は竹串を手にすると、たこ焼きをひっくり返すのではなく、熱々のたこ焼きをそのまま口に放り込んだのです！

「あちち！ハフハフ···。うまい」「えー！大丈夫！」夫!? ヤケドを心配する職員をよそに、満足そうなI様。一同びっくりでした。が、みんな大笑いでした。

おやつを作る過程から利用者様に楽しんでいただき、出来立てのたこ焼きを皆さまに味わつてもらえて良かったです。

(Aユニット・ショートステイS)